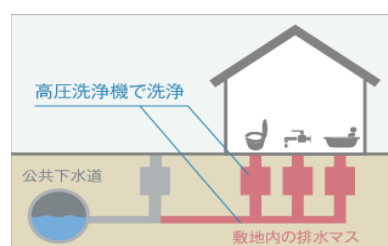


# 平成28年度 環境活動レポート

(対象期間；28年10月から29年9月)



## 株式会社アースクリエイティブ

発行日：平成30年1月12日

# 1. 組織の概要

- ① 会社名 株式会社 アースクリエイティブ
- ② 代表者名 代表取締役 栗原 和実
- ③ 所在地 【本社工場】  
〒759-0204  
山口県宇部市大字妻崎開作 1319 番地の 1  
【リサイクルセンター】  
〒759-0132  
山口県宇部市大字山中字甲石 700 番 17 (宇部テクノパーク内)
- ④ 環境管理責任者 常務取締役 伊藤 伊三夫
- ⑤ 連絡先 TEL (0836) 41-0377 、FAX (0836) 41-0332  
Eメールアドレス [info@earth-creative.co.jp](mailto:info@earth-creative.co.jp)
- ⑥ 創立：昭和38年10月8日 (旧社名：株式会社 宇部衛生工業社)
- ⑦ 資本金：4,000万円

## ⑧. 許可内容

番号	許 可	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	事業の範囲	
					事業の区分	廃棄物の種類
1	宇部市一般廃棄物処理業 収集運搬	第11号	平成28年7月1日	平成30年6月30日	一般廃棄物処理業 (収集・運搬)	浄化槽汚水及び浄化槽汚泥
2	宇部市一般廃棄物処理業 収集運搬、事業系一般廃棄物	第132号	平成28年4月1日	平成30年3月31日	一般廃棄物処理業 (収集・運搬)	事業系一般廃棄物 (し尿及び浄化槽汚泥・汚水を除く)
3	宇部市一般廃棄物処理業、処分	第320号	平成28年4月1日	平成30年3月31日	一般廃棄物処理業 (処分)	事業系一般廃棄物(動植物性残渣)
4	宇部市浄化槽清掃業	第1号	平成28年7月1日	平成30年6月30日	浄化槽清掃業	宇部市内(合併前の旧宇部地域)
5	山陽小野田市一般廃棄物 処理業、収集運搬	指令第50号	平成29年8月24日	平成31年8月23日	一般廃棄物処理業 (収集・運搬)	可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ
6	山口市一般廃棄物処理業 収集運搬	指令資源第71号	平成29年12月27日	平成31年12月26日	一般廃棄物処理業 (収集・運搬)	可燃物(動植物性残渣)
7	防府市一般廃棄物処理業 収集運搬	第26-23号	平成28年3月25日	平成30年3月31日	一般廃棄物処理業 (収集・運搬)	可燃物(動植物性残渣)
8	山口県産業廃棄物収集運搬業	第03516012584	平成28年1月27日	平成35年1月26日	産業廃棄物 収集運搬業	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず、陶磁器くず、燃え殻、汚泥、廃油、廃アルカリ、紙くず、木くず、動植物性残渣、ゴムくず、がれき類、動物のふん尿、ばいじん(これらのうち、特別管理産業廃棄物であるものを除く。)
9	山口県優良産業廃棄物処分業	第03526012584	平成23年3月28日	平成30年3月27日	産業廃棄物処分業	飼料・肥料化：動植物性残渣、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ 破砕：廃プラスチック類、 油化：廃プラスチック類、 溶融：廃プラスチック類 (これらのうち、特別管理産業廃棄物であるものを除く。)
10	山口県浄化槽保守点検業者登録証	浄保-21第71号	平成28年3月31日	平成31年3月31日	浄化槽保守点検業者	-
11	山口県建築物排水管清掃業証明書	山口県16排第2の6 の3号	平成28年1月29日	平成34年1月28日	建築物排水管清掃業	-

番号	許 可	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	事業の範囲	
					事業の区分	廃棄物の種類
12	山口県建築物飲料水貯水槽清掃業 証明書	山口県20貯第54の5 の1号	平成26年6月13日	平成32年6月12日	建築物飲料水貯水槽 清掃業	—
13	福岡県産業廃棄物収集運搬業	第04000012584	平成28年5月16日	平成35年5月15日	産業廃棄物 収集運搬業	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず 等、ず、燃え殻、汚泥、廃油、廃アルカ リ、紙くず、木くず、動植物性残渣、ゴ ムくず、鋳さい、がれき類、動物のふ ん尿、ばいじん (これらのうち、特別管理産業廃棄 物であるものを除く。)
14	再生事業者登録	第35-2-2	平成28年10月7日	平成33年10月9日	飼料化事業	—
15	飼料製造業者	第4号	平成18年4月10日	—	飼料製造業	—
16	危険物製造所	第131号	平成21年12月1日	—	—	—
17	一般取扱所	第1号	平成22年4月9日	—	—	—
18	山口県エコ・ファクトリー	第25号	平成19年3月26日	平成31年3月31日	—	—
19	山口県認定リサイクル製品(飼料)	第217号	平成19年3月26日	平成31年3月31日	—	—

### ⑨. 事業規模

	26年度	27年度	28年度
売上額 (百万円)	523	524	533
従業員数 (名)	33	37	39
延べ床面積 (㎡)	1,802	1,802	1,802

### ⑩. 受託した廃棄物の処理量

廃棄物等種類	処理方法等	26年度	27年度	28年度
一般廃棄物	収集運搬 (t)	525	566	554
産業廃棄物	収集運搬 (t)	2,316	2,180	2,298
産業廃棄物	中間処理 (t)	2,275	2,171	2,152

収集運搬料金：

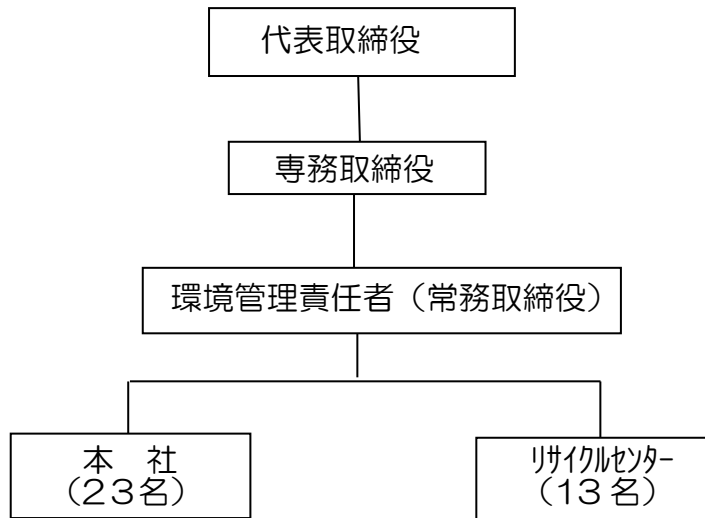
廃棄物の種類・排出量・運搬距離により異なりますので、その都度お見積りにより決定します。

⑪. 事業年度 10月～9月

⑫. 認証・登録範囲 全組織・全活動

## 2. 事業内容

### ①. 組織



### ②. 営業品目

- ・事業系一般廃棄物収集運搬業
- ・産業廃棄物収集運搬業
- ・一般廃棄物・産業廃棄物処分業
- ・食品リサイクル業
- ・浄化槽清掃及び維持管理業

### ③. 施設等

#### 【主要設備】

施設	設備	能力
食品リサイクルセンター	破碎機・分別機・乾燥機・脱脂機	24.1t/日
BDF 製造工場	廃食油精製装置	100L/6時間
発泡スチロール減容機	減容機・発電機	0.16t/日

#### 【保有車両】

バキュームダンパー	10t	1台
	8t	1台
	7t	1台
	4t	2台
	2t	2台
排水管カメラ搭載車		1台
高圧洗浄機搭載車	1t	1台
パッカー車	2t/4t	各1台
トラック	1.5t/2t/3t	各1台
点検・営業車		14台
強力吸引車		1台
保冷車	2t/3.5t/5t	各1台
廃油回収車		1台
タンクローリー		1台

## 【処理施設】

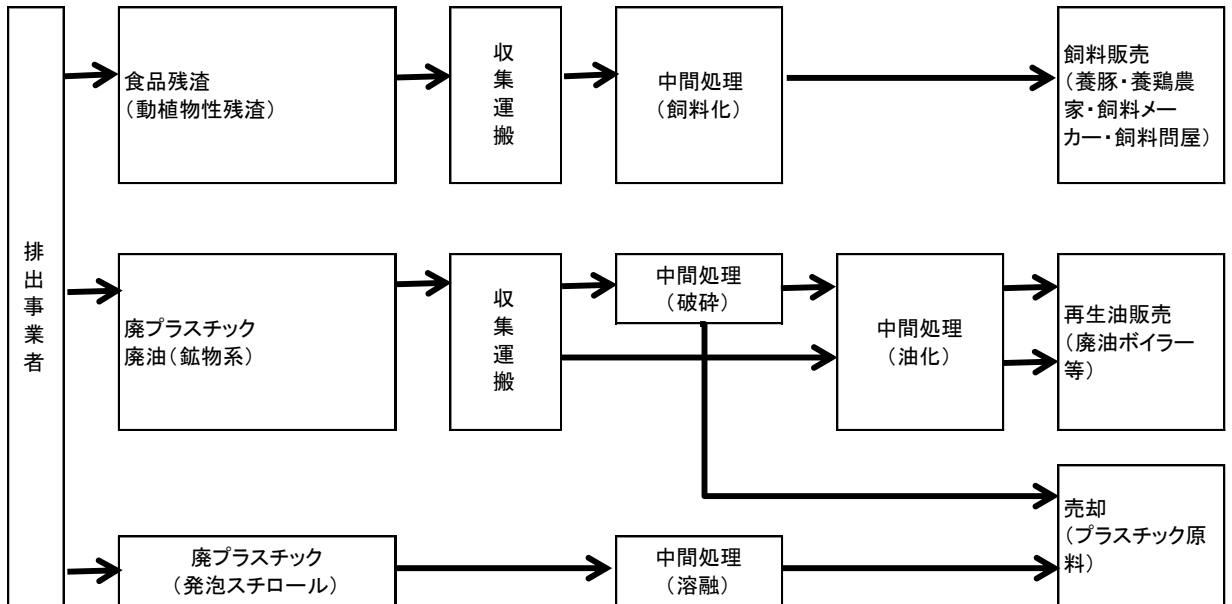
産業廃棄物処分業			
(1)事業の区分	中間処理（飼料・肥料化、破碎、油化、溶融（移動式を含む。））		
(2)種類	飼料・肥料化	動植物性残渣、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ	
	破碎	廃プラスチック類（自動車等破砕物を除く。）	
	油化	廃プラスチック類（自動車等破砕物を除く。） 廃油	
	溶融	廃プラスチック類（自動車等破砕物を除く。）	
(3)事業の施設	飼料・肥料化施設	設置場所	山口県宇部市大字山中字甲石 700 番 17
		設置年月日	平成 18 年 3 月 6 日
		処理能力	24.1 t / 日 (24 時間)
	溶融施設（移動式を含む）	設置場所	山口県宇部市大字山中字甲石 700 番 17
		設置年月日	平成 23 年 4 月 28 日
		処理能力	0.16 t / 日 (8 時間)

産業廃棄物収集運搬業			
(1)事業の区分	積替え又は保管を含む		
(2)種類	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く。）・陶磁器くず（自動車破砕物を含む。以上 3 種類）、燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、紙くず、木くず、動植物性残渣、ゴムくず、鉱さい、がれき類、動物のふん尿、ばいじん（これらのうち、特別管理産業廃棄物であるものを除く。）以上 16 種類		
(3)積替え保管	所在地	山口県宇部市大字妻崎開作 1319 番地 1	
	面積	11.0 m <sup>3</sup>	
	種類	汚泥	
	保管上限	9.42 m <sup>3</sup>	
	高さ	容器保管	

一般廃棄物処分業			
(1)積替え保管	所在地	山口県宇部市大字山中字甲石 700 番 17	
	面積	7.29 m <sup>3</sup>	
	種類	動植物性残渣	
	保管上限	—	
	高さ	—	

## 【処理工程図】

食品リサイクルセンター  
 廃プラ油化リサイクルセンター  
 BDF製造工場



### 3. 環境方針

#### 【基本理念】

株式会社アースクリエイティブは世のために地球環境の創造に挑み、人のために循環社会の環境を創造し、環境への負荷低減に積極的に取り組みます。

その為に環境経営システムを構築・運用することにより継続的且つ確実に環境保全活動を行ない、次世代に承継出来る環境の実現を目指します。

#### 【行動指針】

環境経営システムを構築・運用し、環境関連法規等を遵守すると共に、環境負荷の低減及び、廃棄物の再利用を推進に取り組みます。

以下の行動指針に基づき、環境目標及び活動計画を定め、定期的な見直しを行い継続性のある活動を展開します。

1. 二酸化炭素の排出を削減します。  
(電気使用量の削減及び化石燃料の削減(エコドライブ)に取り組みます。)
2. 5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)に取り組み、社内スタッフのモラル向上、また職場環境の美化、業務の効率化を進めます。
3. 環境に優しい、製品・サービスの採用を進めます。
4. 資源のリサイクルを毎年15%増を目指します。
5. 事業活動に関連する環境関連法規や条例等を遵守します。
6. 地域社会との環境に関するコミュニケーションを良くし、地域の環境改善に努めます。
7. 環境方針を全従業員に周知し、全員で環境改善に取り組みます。
8. 環境方針、活動レポートは、公表します。

平成26年4月24日 改訂  
株式会社 アースクリエイティブ  
代表取締役 栗原 和実

## 4. 環境目標とその実績

(二酸化炭素合計以外の数値は、ひと月当たりの数値、金額欄下側の数値は、基準金額との差を表している。)

項目		基準(26年度)		27年度		28年度		29年度	30年度	31年度
		26年10月 ~27年9月	金額 (千円)	27.10月~ 28.9月	金額 (千円)	28.10月~ 29.9月	金額 (千円)	29.10月~ 30.9月	30.10月~ 31.9月	31.10月~ 32.9月
電気使用量(KWH) (本社)	目標			1,189		1,177		1,165	1,154	1,142
	実績	1,201	551	1,312	592	1,041	516			
	評価			×	41	○	-35			
電気使用量(KWH) (リサイクルセンター)	目標			46,672		44,338		42,121	40,015	38,015
	実績	49,129	10,699	43,159	9,132	34,153	7,768			
	評価			○	-1,567	○	-2,931			
灯油使用量(L)	目標			66.8		65.5		64.2	62.9	61.6
	実績	68.2	75	8.3	6	33.3	31			
	評価			○	-69	○	-44			
ガソリン燃費(Km/L) (本社)	目標			11.94		11.98		12.02	12.05	12.09
	実績	11.91	1,464	14.15	956	14.53	946			
	評価			○	-508	○	-518			
ガソリン燃費(Km/L) (リサイクルセンター)	目標			13.42		13.46		13.50	13.54	13.58
	実績	13.38	517	13.96	499	12.20	363			
	評価			○	-18	×	-154			
軽油燃費(Km/L) (本社)	目標			4.59		4.60		4.61	4.62	4.63
	実績	4.58	2,870	4.59	2,366	4.77	2,208			
	評価			○	-504	○	-662			
軽油燃費(Km/L) (リサイクルセンター)	目標			6.78		6.80		6.82	6.84	6.86
	実績	6.76	2,371	6.73	2,460	7.07	2,243			
	評価			×	89	○	-128			
二酸化炭素合計 (全社) kgCO2	目標			1,003,967		993,927		983,988	974,148	964,407
	実績	1,014,108	-	955,368	-	846,210	-			
	評価			○		○				
水使用量又は総排水量 (本社) m <sup>3</sup>	目標			91.1		90.2		89.3	88.4	87.5
	実績	92.0	227	93.3	234	83.2	198			
	評価			×	7	○	-29			
水使用量又は総排水量 (リサイクルセンター) m <sup>3</sup>	目標			340.6		337.1		333.7	330.4	327.1
	実績	344.0	944	322.8	932	315.0	856			
	評価			○	-12	○	-88			
グリーン購買製品	目標			24品目		24品目		24品目	24品目	24品目
	実績	18品目	-	38品目	-	35品目	-			
	評価			○		○				
プロワ節電タイプ への推進	目標			41%		42%		43%	44%	45%
	実績	40%	-	41%	-	54%	-			
	評価			○		○				

注：二酸化炭素排出量における排出係数は、中国電力平成22年度算出の0.728(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を用いた。

## 5. 環境活動計画の取り組みと結果及びその評価、次年度の取り組み

目 標	環境活動計画	計画の実施状況	次年度の取り組み計画
CO <sub>2</sub> 総排出量削減	電気使用量は更なる削減、軽油はIDドライブ管理機器増を検討し、燃費向上に努める。	電気使用量が大幅に削減出来た事やガソリン・軽油使用量も削減出来た事により、排出量削減となった。	①サウスタワーの LED 化の早期検討、デマンド監視強化の徹底。 ②エコサムの搭載車両増により、燃費向上を目指す。
電気使用量 1%削減 (全体)	①本社蛍光灯 LED 化の効果確認。 ②サウスタワー水銀灯 LED 化の検討推進。	①LED に変更して、電気使用量削減されている事を確認した。 ②1社見積り済。もう1社見積り依頼中。高額なので慎重に検討中。	①サウスタワーの LED 化の早期検討、デマンド監視強化の徹底(乾燥設備同時開始の抑制等)。
灯油使用量 2%削減	本社エコファクトリーの有効活用。	IDファクトリーを使用しているが、効果を感じられない。(エアコン設定温度を変える為、電気使用量増となる)	エアコンと上手く併用させていく。 冬期だけなので、今後環境目標の項目より外す。
ガソリン燃費 0.3%向上	①IDドライブの更なる推進。 ②車両購入時低燃費車の優先導入。	①担当者を中心に計画的な走行、IDドライブを実施中。 ②車両購入時には、優先的に低燃費車を検討中。	①普通車→軽四への変更実施。(3台) ②エコドライブの継続実施。
軽油燃費 0.3%向上	①IDドライブ推進の為の管理機器の増加検討を推進する。 ②前年度の活動項目の継続。 (IDドライブ推進、アイドリング時間短縮、計画的な走行ルート選定など)	①エコサム(IDドライブ監視機器)の検証確認が出来ていない。 ②継続して実施し、燃費向上に努力している。	・エコサムの検証確認を行い、他車両への導入展開の検討。
水使用量 1%削減	①止水の徹底 ②クーリングタワーへの中水利用。	①、②ともに継続中で、削減効果が表れている。	前年度の計画を継続実施。
グリーン購入 2品目/月	エコマーク商品の積極的な購入の推進	商品購入時、優先的に選定して購入している。	エコマーク商品の積極的な購入の推進
浄化槽用ブロワ 節電タイプへの 推進	継続して優先的に選定	交換時、優先的に選定し、全体の50%を超える事が出来ている。	継続して優先的に選定

## 6. 環境関連法規等への違反、訴訟等の有無

当社の事業活動に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありません。  
また、関係機関等からの違反等の指摘、利害関係者からの訴訟もありません。



## 7. 代表者による全体の評価と見直し

活動を始めて5年の節目を迎えますが、日々のエコ活動が常と成りつつあります。

しかしながら、エコ活動は日進月歩。毎日の取組みは地味ですが継続が大切です。

結果を反省し、次の改善に繋げて下さい。

代表取締役 栗原 和実